

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2005-177996(P2005-177996A)

【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2003-417369(P2003-417369)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/21 (2006.01)

B 4 1 J 2/205 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 A

B 4 1 J 3/04 1 0 3 X

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月26日(2009.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光沢を有する第1の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第1の記録モードと、光沢のない第2の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第2の記録モードと、を実行可能なインクジェット記録システムにおいて、

前記第1の記録モードにおいて前記第1の記録媒体の所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量は、前記第2の記録モードにおいて前記第2の記録媒体の前記所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量よりも少ないと特徴とするインクジェット記録システム。

【請求項2】

前記第1の記録モードにおいて前記顔料インクの付与量が最大となる前記領域に対して付与される前記染料インクの量は、前記第2の記録モードにおいて前記顔料インクの付与量が最大となる前記領域に対して付与される前記染料インクの量よりも多いことを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録システム。

【請求項3】

前記顔料インクはブラックの顔料を含有したブラックインクを含み、前記染料インクはシアンの染料を含有したシアンインク、マゼンタの染料を含有したマゼンタインクおよびイエローの染料を含有したイエローインクを含むことを特徴とする請求項1または2に記載のインクジェット記録システム。

【請求項4】

光沢を有する第1の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第1の記録モードと、光沢のない第2の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第2の記録モードと、を実行するために、前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定するための決定装置であって、

前記第1の記録モードを実行する場合に、前記第1の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第1決定手段と、

前記第2の記録モードを実行する場合に、前記第2の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第2決定手段と、
を有し、

前記第1決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は、前記第2決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とする決定装置。

【請求項5】

光沢を有する第1の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第1の記録モードと、光沢のない第2の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第2の記録モードと、を実行するための処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記処理は、前記第1の記録モードを実行する場合に、前記第1の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第1決定工程と、前記第2の記録モードを実行する場合に、前記第2の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第2決定工程を含み、

前記第1決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は前記第2決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】インクジェット記録システム、決定装置及びプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、色材として染料を含有した染料インクと、顔料を含有した顔料インクの双方を具備し、同一の記録媒体に染料記録剤と顔料記録剤の双方を用いて記録を行うインクジェット記録システム、決定装置およびプログラムに関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は上記問題点を解決するために成されたものであり、その目的とするところは、顔料を色材としたインクを用いて、濃度の高い画像を記録可能でありながら、光沢紙のような記録媒体においても、光沢感を損なわない状態でカラー画像を形成可能なインクジェット記録システム、決定装置およびプログラムを提供することである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0009】**

そのために本発明においては、光沢を有する第1の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第1の記録モードと、光沢のない第2の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第2の記録モードと、を実行可能なインクジェット記録システムにおいて、前記第1の記録モードにおいて前記第1の記録媒体の所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量は、前記第2の記録モードにおいて前記第2の記録媒体の前記所定面積の領域に対して付与される前記顔料インクの最大量よりも少ないことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0010】**

また、他の本発明は、光沢を有する第1の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第1の記録モードと、光沢のない第2の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第2の記録モードと、を実行するために、前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定するための決定装置であって、前記第1の記録モードを実行する場合に、前記第1の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第1決定手段と、前記第2の記録モードを実行する場合に、前記第2の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第2決定手段と、を有し、前記第1決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は、前記第2決定手段によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0011】**

さらに、他の本発明は、光沢を有する第1の記録媒体に対して顔料を含有する顔料インクおよび染料を含有する染料インクを付与して画像を記録することが可能な第1の記録モードと、光沢のない第2の記録媒体に対して前記顔料インクおよび前記染料インクを付与して画像を記録することが可能な第2の記録モードと、を実行するための処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記処理は、前記第1の記録モードを実行する場合に、前記第1の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第1決定工程と、前記第2の記録モードを実行する場合に、前記第2の記録媒体に記録すべき画像に応じて前記顔料インクおよび前記染料インクの付与量を決定する第2決定工程を含み、前記第1決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量は前記第2決定工程によって決定可能な前記顔料インクの単位面積あたりの最大付与量よりも少ないことを特徴とする。